

サンゴ由来の入浴剤

—群大の板橋英之教授ら開発—

アトピーに効果 医学部で実証



「ぬるめの湯に3分間で効果」と実演する板橋教授、茂木教授、齋藤取締役(左から、県庁32階で)

群馬大学大学院理工学部の板橋英之教授と同医学系研究科皮膚科の茂木精一郎教授の研究グループは、サン

ゴ由来の天然鉱物「サンゴライト」の溶液が肌の保湿効果を高め、アトピー性皮膚炎の症状を改善することを実

証した。18日に県庁で会見し、板橋教授が会長をつとめる大学発ベンチャー企業GUDI

が海底に堆積してできた入浴剤も披露した。サンゴライトは約5000万年前のサンゴ

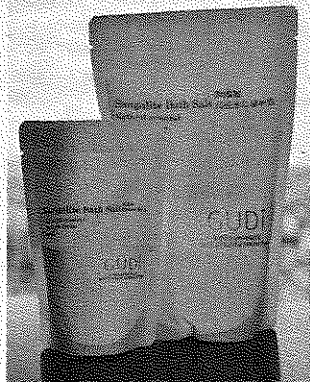
岩。板橋研究室では10年以上前から草津町を流れる強酸性河川水と

堆積土壌を分析。河川に石灰を投入して中和しているが、その際の生成物がタムに堆積してしまい、しゅんせつと廃棄に膨大な費用がかかる。石灰以外の中和剤として用いたのがサンゴライトで、沈殿の量を減らすことほできるが、費用的に合わないことが分かった。

研究成果の実用化には至らなかったが、「この実験をすると手がスベスベになる」との学生の声が生がヒントになり、成分を調べたところフランス製高級化粧品とほぼ同じと判明。河川水の中和から入肌へと、対象を転じた。2019年ぐんぎん

また医学部での研究も実施、マウスを使った実験で入浴により水分蒸散量が低くなり、保湿効果を確認。またアトピー性皮膚炎の患者13人に2週間、サンゴライト風呂に入ってもらい、皮膚のバリア機能改善を実証した。茂木教授は「毎日全身に保湿剤を塗ることで乾燥、悪化を防いでいる患者にとって福音です」と語る。日本皮膚

免疫アレルギー学会誌の電子版にも成果が掲載された。



グッドアイが商品化したサンゴライトバスソルト

齋藤取締役も「超高齢化社会を迎え、加齢による肌の乾燥や皮膚疾患に悩む高齢者にも効果があるでしょう。コロナ禍の現状で施設訪問ができないのが、貢献できれば」と話していた。

GUDIは群馬大学と共同特許を出願。硫黄分の少ない北欧産サンゴライトを微粉末にし、クエン酸を加えて「サンゴライトバスソルト」として商品化。「カルシウムとマグネシウムのミネラル分のバランスがいいのだと思う」と、自身も1年前から使っているという板橋教授。追いつき、風呂釜も傷めな

いとのこと。100℃(風呂1〜2回分)660円、500℃226

40円。桐生市内では地場産業振興センター、矢野園、たかのす診療所で扱っている。

売り上げの一部は群大の研究や学生支援に充てられる。